

宮崎県立  
宮崎西高等学校

Miyazaki Nishi High School

2023年は創立 **50** 周年

2023年度入学生から  
男女とも制服が変わります

学校案内 2023

未知の我を求めて



スーパーサイエンスハイスクール基礎枠 開発型  
令和2年度～6年度（文部科学省5年間指定）



令和4年度主な進路実績(既卒生含む)

東京大学 5名  
 東京工業大学 4名  
 九州大学 4名  
 医学部医学科 4名

京都大学 3名  
 大阪大学 6名  
 名古屋大学 3名  
 神戸大学 4名  
 九州大学 21名  
 九州工業大学 10名  
 熊本大学 22名

宮崎大学 69名  
 鹿児島大学 18名

国立大学 21名  
 医学部医学科 21名  
 など

国公立大学合計 257名

東京理科大学 7名  
 早稲田大学 6名  
 立教大学 5名  
 明治大学 4名  
 同志社大学 4名  
 西南学院大学 13名  
 福岡大学 23名  
 など 私立大学合格者も多数



西高生の一日

通常の50分授業の場合

登校完了	7:25
朝 課 外	7:30~8:15
朝の読書	8:20~8:30
黙 想	8:30~8:32
S H R	8:32~8:40
1 限 目	8:45~9:35
2 限 目	9:45~10:35
3 限 目	10:45~11:35
4 限 目	11:45~12:35
昼 休 み	12:35~13:20
耕心(清掃)	13:22~13:32
5 限 目	13:40~14:30
6 限 目	14:40~15:30
7 限 目	15:40~16:30
終 礼	16:35~16:45

※朝課外は希望制ですが、毎年97%の生徒が希望しています。  
 ※朝のSHRは黙想から始まります。  
 ※宮崎西高校では、清掃活動のことを「耕心」(大清掃は「徳耕心」と呼び、豊かな人間性を育む時間と位置づけ、黙想をしてから取り組んでいます。  
 ※原則として金曜日は6限目までです

令和3年度 英検取得実績

高校生全体	
準1級	26名
2級	251名
準2級	284名

いま私たちは、ワクワクする未来の入り口にいます。「あったらいいな」が現実になっていく、その時代の到来を待つのか。それとも、自分の手で創り出すのか。選択権は、あなたにあります。未来を創りたいのなら、自分の可能性が

引き出せる高校を選んでほしい。宮崎西高等学校は、文系と理系、どちらの方向にも伸びる生徒の将来を見つめ、2つの学科と新しい学びのプログラムで、次代のリーダーを育てていきます。

高校3年間のカリキュラム (令和4年度在校生)

		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35																																		
普通科	1年	国語	地歴	数学	物理	生物	体育	保健	芸術	英語	家庭	探究	LHR																							
	2年	文系	国語	地歴	公民	数学	理科	体育	保健	芸術	英語	情報	探究	LHR																						
		理系	国語	地歴	公民	数学	化学	物理・生物	体育	保健	芸術	英語	情報	探究	LHR																					
	3年	文系	国語	地歴	公民	数学	化学	生物	体育	英語	探究	LHR																								
理系		国語	地歴	数学	化学	物理・生物	体育	英語	探究	LHR																										
理数科	1年	国語	地歴	理数数学	理数化学	理数物理	理数生物	体育	保健	芸術	英語	家庭	探究	LHR	Comp.																					
	2年	文系	国語	地歴	公民	理数数学	理数物理	理数化学	理数生物	体育	保健	英語	探究	LHR	Comp.																					
		理系	国語	地歴	公民	理数数学	理数化学	理数物理・生物	体育	保健	英語	探究	LHR	Comp.																						
	3年	文系	国語	地歴	公民	理数数学	理数化学	理数物生	体育	英語	Expt.	探究	LHR																							
		理系	国語	地歴	理数数学	理数化学	理数物理・生物	体育	英語	Expt.	探究	LHR																								

\*普通科・理数科ともに文系の2・3年次では地歴2科目対応ができます。 \*理数科の理数数学・理数化学・理数物理は、普通科の数学・化学・物理・生物とは教科書や進度が異なります。  
 \*「探究」は本校独自の「きみろん」を行います。 \*「Comp.」は「情報」、「Expt.」は「課題研究」をSSH科目として読み替えたものです。 \*現高校1年生から新課程となっています

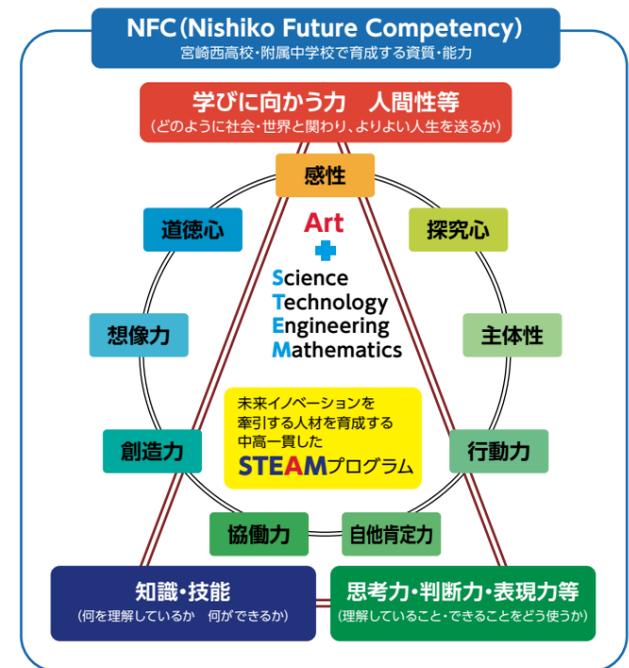
学科紹介

	クラス数	定員
普通科	6	240名
理数科	3	120名(うち80名は附属中学校からの内進)

\*普通科には授業のレベルや進度、模試や行事等を理数科に準じて行う理文クラスがあります。

令和4年度宮崎西高校スクールミッション

- 中高一貫校として、「感性」(ART)と「理性」(STEM)が融合した主体的・対話的で深い学びを展開し、生徒一人ひとりに潜在する資質・能力を高め、将来の宮崎、日本、世界を牽引する人材の育成を目指す学校
- 未知の我を求めて、生徒同士が共に切磋琢磨し協働する中で、探究的な活動を重視し、自ら問いを立てる力や、批判的思考力・協働的思考力・創造的思考力の育成を目指す学校
- 自己や他者の人権や価値観、多様性を尊重し、協力し合う豊かな人間性と、高い目標に挑戦し、試練を乗り越えるたくましい心身の育成を目指す学校





入学式 (4月)



歓迎遠足 (4月)



朝陽祭 (9月)



卒業式 (3月)



球技大会 (3月)



四校定期戦 (4月)



各部キャプテン



県高校総体 (5月)



ポスターセッション



YUME講座 (7月)



球技大会 (7月)



修学旅行 (12月)



大学入学共通テスト見送り (1月)

**文化部** ●音楽部 (合唱・箏曲) ●美術部 ●書道部 ●演劇部 ●文芸部 ●吹奏楽部 ●物理部 ●化学部 ●生物部 ●英語・ディベート部 ●放送部 ●写真部 ●百人一首部 ●国際ボランティア部 ●茶道部 ●囲碁将棋部 ●ダンス部 ●数学プログラミング部

化学部	第65回日本学生科学賞 全国最終審査 (国際学生科学技術フェア2022Atlanta大会の日本代表に選出されました)	旭化成賞
	第65回日本学生科学賞 宮崎県審査	最優秀 県知事賞
		県教育長賞
県サイエンスコンクールプレゼンテーション		最優秀賞
		優秀賞
県高文連自然科学プレゼンテーション	物理部門	最優秀賞
	化学部門	最優秀賞
	地学部門	最優秀賞
九州高校生徒理科研究発表大会	物理部門	優良賞
	化学部門	優秀賞
	地学部門	最優秀賞

九州地区高校化学クラブ研究発表大会		優秀賞
音楽部 (合唱)	第75回宮崎県合唱コンクール	金賞
美術部	県高校美術実技コンクール	風景画 第1席
書道部	令和3年度宮崎県高等学校席上揮毫大会	漢字臨書 第1位
文芸部	第35回国民文化祭全国高校生みやざき短歌甲子園	団体 準優勝
	第11回牧水短歌甲子園	団体 準優勝
吹奏楽部	令和3年度県吹奏楽コンクール	金賞
英語ディベート部	第19回宮崎県英語ディベート大会	優勝
百人一首部	宮崎県高等学校総合文化祭	個人 ベストディベーター賞
		団体戦 優勝
囲碁将棋部	宮崎県高等学校総合文化祭	個人戦 A パート 準優勝
		将棋個人 優勝・第2位
		囲碁個人 優勝
その他の活動	JICA 国際協力高校生エッセイコンテスト	高校生の部 優秀賞
	第11回科学の甲子園宮崎県予選大会	第1位 (11年連続)
	第16回エコノミクス甲子園宮崎県大会	優勝 (2年連続)
	県立学校紹介PR動画コンテスト	銀賞

この他にも、多くの個人や団体が入賞・入選し上位大会に出場しています。

**運動部** ●陸上競技部 ●柔道部 ●剣道部 ●弓道部 ●卓球部 ●山岳部 ●野球部 ●テニス部 ●ソフトテニス部 ●サッカー部 ●ラグビー部 ●ハンドボール部 ●バレーボール部 ●バスケットボール部 ●バドミントン部 ●水泳部 ●ソフトボール部 ●体操部

水泳部	宮崎県高等学校総合体育大会	女子200m平泳ぎ	第1位
		女子100m平泳ぎ	第1位
	宮崎県高等学校新人大会	男子400m×ドレーリレー	第1位
		競泳男子総合	第2位
ソフトボール部	宮崎県高等学校1年生大会		第1位
ラグビー部	宮崎県高等学校1年生大会		準優勝
	全九州高校10人制大会		優勝
	令和3年度宮崎県スポーツ協会賞		スポーツ奨励賞
テニス部	第52回県ジュニアテニス選手権大会 (女子)	シングルス	優勝
山岳部	宮崎県高等学校新人大会	男子団体	第2位
体操部	宮崎県高等学校総合体育大会	男子個人総合	第2位
		男子団体	第2位
	令和3年度宮崎県スプリング大会	男子個人総合	第2位
空手道	宮崎県高等学校総合体育大会	男子個人形	第1位
	宮崎県高等学校新人大会	男子個人形	第1位

この他にも、多くの個人や団体が入賞し、上位大会に出場しています。



「西高」という環境で  
楽しく自分を  
高めていく

名古屋大学工学部機械航空宇宙工学科  
堀内 琉敏

理数科  
大塚中学校出身  
野球部

入学当初から「理数科と野球部の両立なんて大変だね」と周囲から言われ続けてきました。それでもギブアップすることなく乗り切れたのは西高の環境あってこそだと思います。月曜日、土日の練習試合の疲れが残ったまま登校すると朝課外の前から予習に励むクラスメートの姿があり、自分も頑張ろうと奮い立ちました。そんな甘えを許してくれない環境があったからこそ、野球をしながらも大学合格を勝ち取れたのだと思います。また、勉強で苦しい時は仲間と野球をすることで気持ちの切り替えができました。

西高は課題が多いとよく言われます。しかし、多くの受験生を合格に導いてきた先生方の出す課題をこなせば確実に成績は伸びていきます。また、課題をやることによって最低限の勉強量が確保されます。僕は休み時間なども使って課題をやっていました。課題にしっかり取り組むことが西高でレベルの高い学習をしながら部活も楽しめる秘訣です。

素晴らしい友人達と高め合い、遊び、部活も楽しめた西高生活に僕は満足しています。西高では最高の高校生活が送れること間違いなしです！



四校定期戦



四校定期戦

# 未来を待つのではなく、 創る人になれ。

## 高めあえる 仲間がいるから、伸びる。

西高には、宮崎市内外から多くの生徒が集まってきます。初めて出会う個性に、きっと大きな刺激を受けるはず。そして、それが学ぶ意欲につながることを多くの先輩が証明しています。「西高の生徒はよく勉強する」と言われるのは、そのためです。もちろん、高校では多くの勉強量が必要になります。それでも頑張れるのは、高めあえる仲間がいるから。努力できる環境があるからこそ、入学後、飛躍的に成長できるのです。

## 時間をうまく使って、 部活動と勉強を両立させる。

生徒の多くは部活動に所属して、勉強と両立させています。それができるのは、時間の使い方を工夫しているからです。その一つが、空き時間を利用した学習です。職員室前にずらりと並んだ長机には、早朝から生徒が集まり、静かに自主学習を始めます。先輩の姿を見ながら、後輩たちは次第に時間をうまく使えるようになるのです。こうした時間の使い方や自主性は、間違いなく卒業後の人生に大きなプラスをもたらします。



### 西高には 夢をつかめる 環境が揃っている

九州大学医学部医学科

水渕 主喜

理数科  
綾中学校出身  
水泳部

西高の魅力は何といっても、才能にあふれた同級生がたくさんいて高め合えることです。そして開放的な吹き抜けの自習室、先生方の徹底したバックアップなど恵まれた環境で勉強することができます。

中学生の頃から医学部志望だったので学習環境やカリキュラムが充実した西高を選びました。理科が好きだったので、1年生で生物、物理、化学の基礎を学べたことも魅力でした。志望校を決めたのは2年生の1学期。高く掲げた目標を達成できたのは1年生からの積み重ねのおかげだと思います。大切にしたのは一つひとつの授業と定期テストです。授業はその場で理解するつもりで受け、定期テストに真剣に取り組み、模試のやり直しにも力を入れました。そうすることで苦手な教科や分野も苦手意識がなくなってきました。西高では基本的なことをしっかりやれば必ず目標に届きます。私も塾に通うことなく第一志望に合格することができました。そして、三者面談での先生からの励ましの言葉が自信になりました。

つかみたい夢がある人は西高の環境を使ってください。自分と先生たちの力を信じて進めば、西高がきっと素晴らしい母校になります



### 文芸部と茶道部で 新しい自分に 出会えた

京都大学総合人間学部

坂本 遥香

理数科  
宮崎大学附属中学校出身  
文芸部・茶道部

西高で大好きな仲間と出会いたくて文芸部に入りました。文章を書くことも好きだったので文芸部では小説を書くことにも挑戦。その結果、宮崎と九州の高校総合文化祭「散文の部」で最優秀賞を受賞することができました。文芸部は短歌の活動が活発で、歌会を通じて他校や大学生と交流することもできます。小説や短歌の創作を通じて自分の新しい世界を開くことができました。

私は文芸部と茶道部を兼部していました。文芸部は週1回、茶道部は週2回の活動なので無理なく勉強と両立できます。茶道は忙しい学校生活で息抜きの時間でした。お茶を点てるのには「呼吸」のようなものがあります。特に受験前など、頭を空っぽにして呼吸をするように静かにお茶を点てる時間が心を落ち着かせてくれました。2つの部活動を通して、一つのこと集中して取り組むこと、自分を高めて律することの大切さを知りました。

西高には個性豊かな人が集まっているので、面白い友達がたくさんできます。自分が好きなことも堂々と話すことができ、みんな面白がって受け入れてくれます。自分を素直に表現できることがきっとプラスになりますよ。

勉強面では初めはきついと思うこともあるかも知れませんが、3年生になると良かったと思うことが何度もあります。



### 部活仲間や クラスメートから 刺激を受けて

九州大学工学部Ⅲ群

吉良 丈

普通科  
大淀中学校出身  
卓球部

西高には勉強ばかりしている人は意外と少なく、私もやる時は集中して勉強に励み、休み時間や放課後は友達と高校生らしいバカなことをして先生に怒られることも多々ありました。それらも今となっては大切な思い出です。朝陽祭などの行事も良い息抜きになりました。

志望校を決めたのは1年生の秋です。先生の勧めで九大を目指すことになったのですが、卓球部で進路の話をするうちに意識が高まり「行けたらいいな」から「絶対行きたい」に気持ちが変わりました。同じく九大を目指す友人と模試の結果を見せ合い、負けたら悔しくて、「次は勝つ!」と思って頑張ることができました。独自の「やり直しノート」を作り、問題を間違えた時の状況を詳しく書いて復習したことも役に立ちました。

授業で楽しかったのは数学のグループミーティングです。同じ問題でも色々な考え方がないと知ることができました。西高では自分にない考えや視点を持つ人に出会えて刺激をもらえます。卓球部には理数科の人が多く、彼らに勉強のことを聞いたことも成績の向上につながりました。入学したらたくさんの友人をつくって自分を高めてください。

# どんな興味も追究できるから面白い。 君だけの学びから、世界は広がります。



「きみろん」とは、「君にしか書けない論文コンクール」の略。西高では、「きみろん」という学内コンクールに向けた論文の完成を目指しながら、思考力や追求力、表現力など、将来に必ず役立つチカラを育てていきます。難しそうと思うかもしれませんが、段階的に身につけていくので心配はいりません。これまでの勉強とは違う本物の「学び」に触れることで、知ることの楽しさを発見できます。

SSH推進課主任 化学部顧問 中原 重弘先生

本校は「一人一探究、一論文執筆」が特徴。一人一人興味関心の対象が異なるからこそ、それぞれが関心のある分野を探究し、研究した結果を論文にまとめ発表します。何を研究するか？それが一番難しいですが、研究することのハードルを下げるのが私たち教師の仕事です。今の世界は、起こる現象についての答えがほとんど見つかっています。とはいえ教科書に書いてあることを覚えるだけではダメです。未解決のものに自分で答えを見つける。その力を身につけてほしい。まずは何でもいいからやってみることです。そのとき、新しい発見があります。

普通科3年 加藤 朋大 木花中出身

国際学生科学技術フェア2022Atlanta大会日本代表

日本学生科学賞・高校生生の部で「旭化成賞」を受賞しました。5年ぐらい前から木片の透明化に興味を持っていましたが、昨年海外で私が関心を抱いていたことを研究している論文を見たことから、その方法などの分析を試みることにしました。本校はSSHの指定を受けているため、高度な器械を使った実験や研究ができます。また所属する化学部の顧問の先生も休日返上で熱心に指導してくれました。興味を持った研究を突き詰め、賞を獲得できるほど高められたのも恵まれた環境あってこそ。今後は研究をさらに深め、木材の透明化から環境保護にも貢献できればと考えています。

理数科3年 田品 穂乃 宮崎西高附属中出身

本校はSSHに指定されており、個人ではできない実験や研究を経験できるのが最大の魅力。実験の器械、場所、先生が付いて研究を深められます。また必要に応じて、専門家の先生にもつないでもらえます。私は県の自然科学プレゼンテーション大会で、「東土崩壊」の対策法の研究が地学部門最優秀賞に選ばれました。部活内で話題に上がった内容で、県内で多く見られる現象だったため、地学の知識はゼロでしたが挑戦してみました。論文やスライド作成は初めてでしたが、ベテランの先生たちに支えられ良い結果を残せました。何か深めたいなら、研究をサポートする体制は万全の本校へ。

理数科3年 本田 朱里 宮崎西高附属中出身

中学校では理科部に所属。当時から発電に興味があり、靴のソールを切って発電組織を入れて、歩きながら発電する生活をしていました。周りとは違うことをしていても、温かく育てくれる環境でのびのびと探究できました。私は、省エネと豊かな生活の融合を研究したいと思っています。高校では九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)の講義を受け、そこで知ったヴィスコスフィンガリング現象に魅せられて、研究を始めました。SSHに指定されていることで、学生の興味関心を高度な研究まで高めてくれます。スローガンの通りの、素晴らしい学生生活ができますよ。



部活も行事も**全力**で！  
無理なことは  
一つもない

大分大学経済学部

小田 峻也

普通科  
紙屋中学校出身  
陸上競技部

陸上競技部に所属し、キャプテンを務めました。大会での緊張に打ち勝つ精神力、辛い練習に耐え抜く忍耐力、走り続けて培った体力など全てが自分を強くしてくれました。これらの力は受験でも発揮されたと思います。

私は小林市から1時間半かけてバスで通学していました。帰宅時間は夜10時過ぎ。だからバスに乗っている時間を勉強に使いました。疲れて眠い時はバスで寝て家で集中するなどやり方次第です。そしてどんな日も、好きな英語の勉強だけはやると決めていました。

学校のカリキュラムでは「きみろん」が役に立ちました。「アイドルと経済効果」をテーマに研究したのですが、好きなことを調べることが楽しく進路にもつながりました。きみろんの実績は入試の特色加点で評価されました。

行事も楽しく朝陽祭では副団長を務めました。準備など大変でしたが、充実した思い出です。合唱コンクールもクラスの団結力が強まります。周りから大変だろうと言われたことも3年間やり通すことができました。西高には高め合い、支え合える友人や成長させてくださる先生方がたくさんいます。何事も全力でできる、それが西高です！



水泳も勉強も  
諦めずに  
**両立**できた

宮崎大学医学部看護学科

金子 万葉

普通科  
大流中学校出身  
水泳部

私は水泳部に所属し、校外のスイミングクラブでも練習していたので夜8時まで練習し、自宅で勉強を始めるのは10時前という生活が3年生の7月まで続きました。疲れがたまって辛い時もありましたが、自宅で2時間半の学習時間は確保しようと、ルーティンを決めて実行していました。休み時間や移動時間などすきま時間も活用しました。水泳では県大会で優勝という目標を達成することができました。部活動をしていたからこそ勉強も頑張ることができたと、諦めないことの大切さを学ぶことができました。

きつい時に乗り越えられたのは西高のおかげです。授業は全員が参加できるように工夫されているので集中して受けられます。吹き抜けの自習室など勉強に最適な場所があり、頼れる先生方と辛い時も支えてくれる友達がいいます。勉強が大変な面もありますが、その分、行事は全員が全力で楽しめます。私も体育祭で副団長を務め、朝陽祭が一番の思い出となりました。遠足や四校定期戦なども生徒が主体となって行うのでぜひ西高に来て楽しんでください。叶えたい夢がある人は、西高で夢に立ち向かって欲しいと思います。

# 先輩からの Message



普通科 2年  
西松 佑紀歩  
(大塚中学校出身)

勉強に適した環境と多くの才能を持った友人に出会える点にひかれて志望しました。毎日の小テストや授業スピードに付いていくのに必死ですが、日々充実感で満たされています。先生方は質問にも根本から教えてくれるなど、サポートが手厚いです。何事にも全力で楽しく取り組むことができる本校はおススメ！



普通科 2年  
藤久保 ひなた  
(生目南中学校出身)

小テストや毎日の宿題、休日の課題の量も多いので、時間の使い方がカギになります。勉強が大変なことは多いですが、自分のためと思って頑張っています。私は陸上部に所属しています。大会があると疲れも相まって課題をこなすのが大変ですが、仲間や先輩と支え合いながら励んでいます。両立の達成感は格別です。



普通科 2年  
山下 悠希  
(生目中学校出身)

国立大学で経営学を学びたいと思っています。高めの目標を掲げて努力して合格できることを目指したかったので志望しました。私が所属するサッカー部は、県大会で3大会連続ベスト8に入る好成績を残すところ。休み時間に課題を終わらせるなど時間の使い方の工夫が必要ですが、充実した生活を送れます。



理数科 2年  
齋藤 有李  
(加納中学校出身)

小児科医を目指しており、3年後の自分を見据えて高校選びをするべきだという話を聞いて、本校を志望しました。夢を叶えるために日々の学習を大切にしています。時間の使い方など大変な面もありますが、同じような目標を持ち、切磋琢磨し合える仲間がいて、毎日が刺激的です。充実して自信も付く本校にぜひ。



理数科 2年  
山中 颯人  
(東大宮中学校出身)

私にとっては、学校に住みたいって言えるぐらい楽しいところです。個性豊かな仲間たちと囲まれ、自分を表現しやすい雰囲気の中で、勉強にも部活にも打ち込みます。校舎や制服の好き嫌いは、人によってあるかもしれませんが、でもそんなことは関係ないと思えるぐらい、すばらしい学校生活が送れますよ！



理数科 2年  
兼松 大志  
(宮大附属中学校出身)

県内トップクラスの精鋭の中に自分も入りたいと志望しました。部活と勉強の両立を実践できるのが魅力。サッカー部に所属し、放課後に課題を終わらせるなど時間の使い方を工夫しています。外交官が将来の目標。仲間と問題を教え合い切磋琢磨しています。この恵まれた環境で“未知の我”を見つけてみませんか？



普通科 3年  
入田 千代  
(綾中学校出身)

西高の魅力は高め合える環境。バスケット部に所属していますが、部活も勉強も、心強い仲間でありライバルでもある存在がいます。だからこそ、日々、良い刺激を受け自己を伸ばせます。私は通学に1時間かかります。ハードですが、それを上回る楽しさで、笑顔が絶えない毎日。充実した3年間を一緒に送りたいです。



普通科 3年  
日高 恒顕  
(生目台中学校出身)

優秀な人材が集まり、夢に向かって切磋琢磨する環境で自分も学びたいと思いました。将来の夢が固まっていませんでしたが、西高の仲間と勉強に励むうちに、自分の在り方も分かるように。話すことが得意だと感じて、それを生かせる仕事として今は弁護士を目指しています。将来の指針を与えてくれる学校です。



理数科 3年  
外山 和滉  
(大淀中学校出身)

西高には独自の論文にまとめて発表する活動“きみろん”があります。最初は研究なんて無理と思っていました。しかし、気になる研究をしている宮崎大学の教授に連絡をする後押しを、担任の先生がしてくれ、力を借りるまでに。大会で自分の研究を発表する経験も実現。今では動物や爬虫類の研究職を目指しています。



理数科 3年  
中八兄 壮太  
(宮崎西中学校出身)

目指す大学に入り、物理系の勉強を極めたいと思っていたため、県内一の難関大学合格実績がある本校を志望しました。授業のスピードが早く、課題や小テストも多いですが、高水準の学術的な議論を生徒同士で交わすことができ、自然とやる気になります。先生方が熱心に指導してくださるのも魅力の一つです。



理数科 3年  
中川 琴美  
(生目中学校出身)

西高は何事にも全力を尽くせるところが魅力です。本分は勉強ですが、四校定期戦やクラスマッチ、朝陽祭などの行事も盛り上がります。私は朝陽祭で、自由に参加できるダンスステージに立ち、大いに楽しみました。行事を通して絆を強くした仲間たちと、良い関係を築き勉強できるのも西高ならではの魅力です。



普通科 3年  
安治川 かの子  
(本郷中学校出身)

先生方の熱心で面白い授業や、整った設備で集中して勉強に取り組めます。校内で人気の場所「吹き抜け」は、私も気に入っています。部活動や行事も盛んで、私は中学校からやっていた卓球を続け、全力で楽しんでいます。勉強はもちろん部活や行事で、切磋琢磨できる本校で、充実した3年間を過ごしましょう。

表紙の写真は、右上から島田美香（普通科1年：大淀中学校出身）、新川正貴（普通科2年：大淀中学校出身）、甲斐緒乙（普通科2年：生目中出身）、左上から田村空也（理数科1年：東大宮中学校出身）、岩切菜々（普通科1年：生目中学校出身）、島田美香、田中大地（普通科1年：生目台中学校出身）

令和4年度宮崎西高校オープンスクールのお知らせをいたします。

第1回

令和4年 7月28日(木) 29日(金)

《午前の部：普通科 午後の部：理数科》

\*対象中学校を指定して実施します。

第2回

令和4年 10月8日(土)

《普通科・理数科合同》

オープンスクールの  
情報や申し込みはこちら



\*詳細は学校ホームページをご確認下さい。 <https://cm.miyazaki-c.ed.jp/6037/htdocs/>



宮崎県立宮崎西高等学校

Miyazaki Nishi High School

〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町柳ヶ迫 3975-2  
TEL.0985-48-1021 FAX.0985-48-0783